

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム阿久比

目標達成計画

作成日: 令和 3年 11月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	基本理念はスタッフ全員理解できている。実践となると一部スタッフのケアや言葉使いの行動で繋がっていない姿勢が見られる。	基本理念を職員が全員理解し実践に繋げることができる。	利用者様に「今日も明るく楽しく生活のお手伝い」が生活の中で参加していただけるようにアプローチをする。	6ヶ月
2	2	コロナ感染予防の為、外部からの訪問者の制限を行い開催しなかった。	全国で感染の可能性がないと判断できたときに開催することができる。	地域の方に当GH活動を普及し、地域の中で共存できるサービスであることを提供したい。	6ヶ月
3	6	業務の経験はあるが「身体拘束」を学ぶ機会がない職員がいる。	「身体拘束」の重要性。人権に関する内容を学習できる環境を作る。	身体拘束に向けた研修の参加。委員会での普及活動。学習不足の職員教育を行う。	6ヶ月
4	13	認知症の方の介護や、国家資格などのスキルアップしたいが休みが取れず研修や学習する機会がない。	個人のスキルアップが図れる環境作りを行う。	スキルアップはスタッフ個人の目標に繋がる。シフトで体力に負担がないように環境作りを行う。	6ヶ月
5	26	プランがケアマネ任せになり、定期的な評価が滞っている。	ケアプラン作成に関わることができる。	介護職にケアプランが重要であることの意識付け。介助業務以外に利用者様の観察方法やケアプランの成り立ちをケアマネが指導する	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。